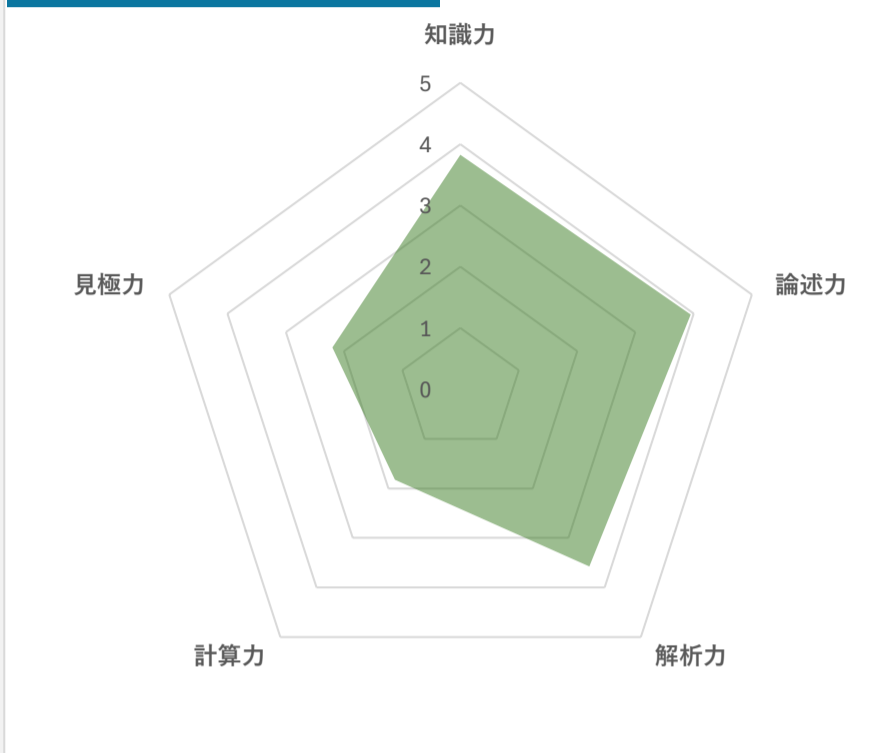


総合分析

試験区分	一般 (前期)
------	---------

制限時間	60分 (理科 2科120分)	大問数	全 4 問
------	-----------------	-----	-------

合格に要する能力 (5段階)

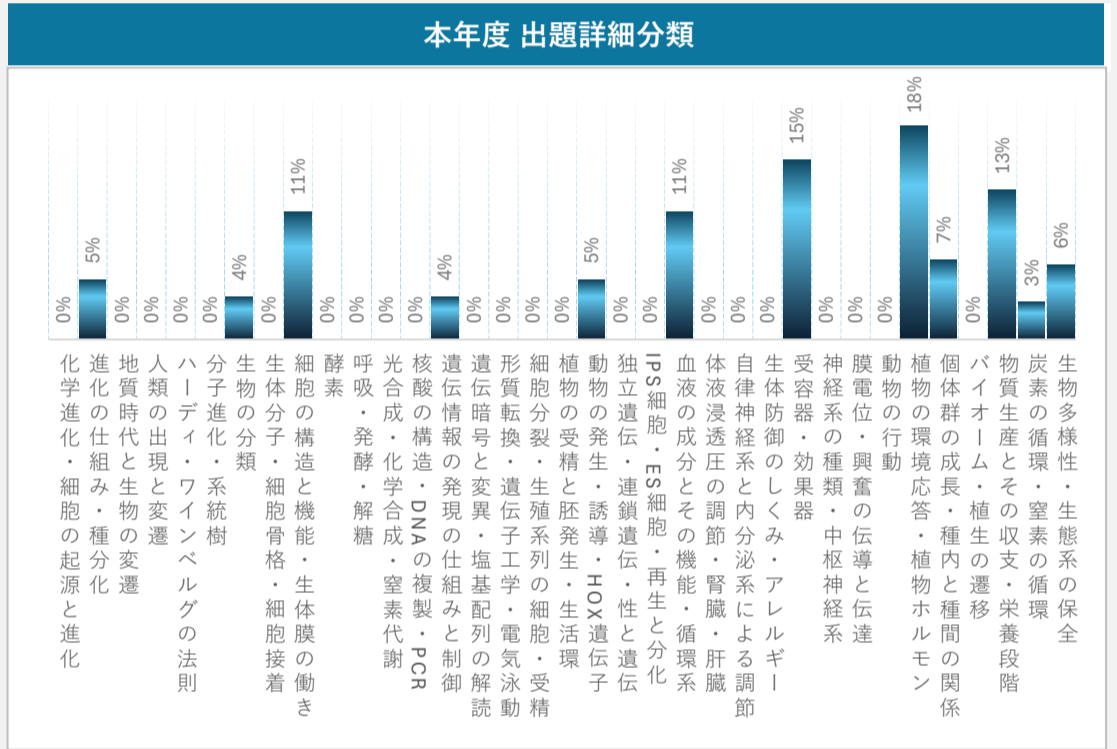


出題分野	
系統と進化	9%
生命現象と物質	11%
遺伝子	4%
生殖と発生	5%
生物の環境応答	26%
生態	46%

本年度 解答形式	
論述	100%

本年度出題テーマ一覧	
第 1 問	生物の特徴, ミトコンドリア, 酸素解離曲線
第 2 問	シュートの枝分かれの調節
第 3 問	眼の発生, ヒトの眼
第 4 問	さまざまな生態系における物質生産

合格に要する能力 (5段階)		
知識力	3.6	出題分野の幅広い知識を有するか
論述力	3.8	設問の指定に沿って的確に記述する力
解析力	3.4	図表データなどから分析・解析する力
計算力	1.6	式を組み立て, 正しく計算する力
見極力	2.0	難度を判断し, 適切に時間配分する力



特殊問題の有無	数理生物学なし	生物物理なし	ノーベル賞なし	範囲外問題なし	長文論述あり
---------	---------	--------	---------	---------	--------

特記事項	特になし
------	------

総合評価				
難度	3.0	最難を 5 とする問題自体の難度	標準	一次合格に必要な正答率 (予想) 70%
分量	50分	完答に要する時間 (制限時間は60分)	やや少ない	標準

**入試の特徴と対策**  
標準的なバランスのよい問題で, 高校での学習で十分に対応できる。

**入試から見る 大学が求める学生像**  
大阪医科薬科大学は単科医大であるが, 全範囲から万遍なく出題されているのが特徴である。これは入学試験にあたり「学習しておいてもらいたいのは医系生物なのではなく高校生物」という強いメッセージであろう。